

埼玉県・オハイオ州スカラシップ機械工学科系 レポート 8月

異国での新生活

自己紹介

私は、H27年度の機械工学系奨学生の八木宜明です。まず始めに、きっかけを与えてくださった大学の先生方、留学を許してくれた母や親戚の方々、多大なるご支援をしていただく Nissin Brake Ohio の方々に、感謝申し上げます。

私がこのオハイオ州スカラシップに応募した理由は、ただ英語を話せるだけでなく、会社に勤め始め、英語が必要になったときに、現地のエンジニアと現場で英語を使って会話ができるようにするためです。それを通して、自分自身を変えていきたいと思います。具体的には、困難に出会った時こそ前向きに考え行動する、そして、私自身のことを受け入れ、認めることです。アメリカ人の良い行動、考えを学んで帰ってきます。

この活動が終わった後に、あなたが今年の奨学生で良かったと言われるような、充実した時間を過ごせるよう努めます。そして、支えてくれているすべての方々に、感謝の気持ちを行動で示していきます。

フィンドレー大学

私は、オハイオ州フィンドレーという土地で、約9ヶ月過ごします。住み始めて間もないですが、環境や文化の違いに戸惑いながらも、毎日充実した時間を過ごしています。フィンドレー大学は、敷地内でリスや蛍を見ることができ、とても自然が豊かなところです。大学内は、徒歩15分ほどで移動できる、行動しやすい敷地の広さです。私の住んでいるハウスは、ガス漏れや水漏れが起きるなどハプニング続出ですが、そんな出来事もアメリカならではのことであり、日々、前向きに生活をしています。

大学での授業 IELP (Intensive English Language Program)

私は、IELP という英語を集中して学ぶコースで、諸外国から来た学生と一緒に勉強しています。最初にテストが行われ、その結果でクラス分けされました。中国人やサウジアラビア人と一緒に授業を受けています。アメリカの授業は、意見が飛び交い、活気に満ちています。積極的に学生が授業に参加するところが日本と異なります。分からないことは、その場で分かるまで教えてください。私も彼らの真似をして、授業中に意見を言うことを心掛けています。

Cedar Point シダーポイント (遊園地)

エリー湖のそばにある、Cedar Point という、日本でいう富士急ハイランドのような遊園地へ行きました。私は、人生で始めてジェットコースターに乗りました。終わった後はぐったりしてしまいましたが、楽しむことができました。言語という壁があるものの、アメリカ人の友達と楽しい時間を過ごすことがで

きました。これは、私にとって嬉しいことです。それと同時に、上手く気持ち
が伝わらないことが、悔しくも感じました。現時点での私の英語力では、気持ち
を伝えるのに限界があることをはっきりと知ったので、これからより一層勉強
に励んでいきます。

インターンシップ

工場で働いている人の発音は様々で、大学内の人に比べて聞き取りにくいで
す。加えて、機械の運転音が、聞き取ることをさらに困難にしています。その
状況の中で、分からなかったことをそのままにしないことを心掛けています。
すぐに聞き返し、意味を理解するよう努めています。聞き違いをして、ミスや
事故を防ぐためです。私は、過去、機械工作の実習で指を負傷したことがある
ので、安全には人一倍気を付けています。

これから、新たな学びをさせていただくのが楽しみです。



インターンシップでの活動の様子



フィンドレー大学



Cedar Point